

第289回 日本体育大学長距離競技会

【出場結果】

実施日 : 7月3日(土) 5000m

会場 : 日本体育大学健志台陸上競技場

出場者 : 加藤 平 親崎 達朗 関口 大樹 田中 龍誠

出場種目・出場者・リザルト

氏名	関口	田中	親崎	加藤
種目	5000m	5000m	5000m	5000m
組	9組目	9組目	10組目	11組目
タイム	14'43"56 (入社後ベスト)	14'46"60 (入社後ベスト)	14'22"84	14'12"18 (自己ベスト)
順位	13/30	16/30	8/34	1/29

【レポート】

上半期のトラックシーズンも終盤に差し掛かりましたが、記録更新を狙って日本体育大学長距離記録会に4名の選手が出場して参りました。

9組目に出場した関口、田中は14分45秒切りを目標に走り、序盤は田中が積極的に先頭集団でレースを進めたものの、2000m過ぎで苦しくなると、後方からペースアップした関口と競り合う展開となりました。2人の争いは最後までつれ、ラストスパートの差で関口が14分43秒台、田中が14分46秒でゴールし、ともに入社後ベストを更新し今後を期待させる走りでした。



関口、田中ともに入社後ベストを更新

10組目に出場した親崎は今季安定した結果を残しており、今回も自信を持ってレースに臨み、好記録の期待が高まりました。4000m過ぎまで先頭集団の中で余裕を持って走り、ラストスパート次第では自己記録更新の可能性もありましたが、僅かに届かず14分22秒台のセカンドベストでのゴールとなりました。確実に力をつけていますので、次戦予定のホクレンディスタンスチャレンジ北見大会では自己記録更新を目指して欲しいと思います。



冷静な走りでセカンドベストをマークした親崎

11組目に出場した加藤は、ここ最近のレースで自己ベストをマークするなど好調を維持しており、今回も14分1桁の記録を狙って序盤からレースの流れに乗っていきました。強豪選手が多数出場した組でしたが、想定以上のスローペースで記録への期待は薄れたものの、ラスト600mからのロングスパートが冴え、組1位の14分12秒台の自己新記録でゴールしました。

今回は自己記録もさることながら、レースに勝ち切る「強さ」も見せ、次戦のホクレンディスタンスチャレンジ網走・北見大会では13分台の大台にもチャレンジして欲しいと思います。



記録以上の「強さ」を見せた加藤

今後とも皆様の温かいご声援をお願い致します。